

平成26年度 第7回「由布市子ども・子育て会議」議事録

日時：平成27年2月12日（木）14：00～

場所：由布市役所 庄内保健センター2階 健康増進室

<次 第>

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事内容（由布市子ども・子育て会議設置条例第5条）
 - (1) 子ども・子育て支援事業計画素案の訂正及び追加について
 - (2) 子ども・子育て支援事業計画素案の最終検討
 - (3) 次世代育成支援行動計画の達成状況及び本事業の点検・評価
 - (4) その他
由布市幼児教育振興プログラムの策定について
由布市教育委員会

4. 閉会

<議事内容>

- (事務局) : 冒頭挨拶。
- (会長) : 冒頭挨拶。それでは、事務局から議事に沿ってお願いします。
- (事務局) : それでは「(1) 子ども・子育て支援事業計画素案の訂正及び追加」についてご説明いたします。素案をご覧ください。
- (会長) : 説明ありがとうございました。ここまでで何かご質問等がございますか。
- (委員1) : 素案68ページの、保護者の「居場所の確保」という表現に対して違和感を感じますので、集う場所とか集まれる場所という表現がよいと思う。
- (事務局) : 検討します。
- (副会長) : 素案の128ページの幼稚園の預かり保育については、今後由布市は認定こども園化していくという意味ですか。由布市は今後認定こども園に移行していくという考えでよいですか。
- (事務局) : ここでは、現状の預かり保育について説明している内容です。
- (副会長) : 国が認定こども園を進めているが、由布市では計画をしていないという意味ですか。
- (事務局) : 今のところ、由布市では認定こども園の予定はないです。
- (会長) : 他にございませんか。なければ次の議題に進んでください。
- (事務局) : それでは、次の(2) 子ども・子育て支援事業計画素案の最終検討につい

てご説明いたします。

- (会長) : はい、ただいま事務局から説明がありました、計画の最終案について皆様、一言ずつご意見ご感想をいただきたいと思います。
- (委員 2) : 教育環境の整備についても記載していただいているので特に問題はない計画だと思います。現状と課題をしっかりと考えていただいているので良いかと思えます。
- (委員 3) : 学力向上という問題に対して今後も力を入れていく必要があると考えています。家庭学習の習慣も大事になるかと思えます。一番は学校での授業が大切ですが、学校と家庭との連携で学力向上を図る必要があると考えます。
- (委員 4) : 67ページでの「地域における子育て支援」について、地域についての記載がないので検討してほしい。85ページの③家庭や地域の教育力の向上についての記載を見直してほしい。82ページに自尊心を入れてほしい。107ページの計画の推進体制の中に、家庭・行政・地域・会議がどうからんでいくかというイメージ図があるとわかりやすい。109ページの計画の周知・啓発の中に、今後の検討課題等については「子ども・子育て会議で図る」という文言を入れてほしいです。全体的にはよくできた内容だと思います。
- (委員 5) : 困った時に連絡する際に、どこに連絡すればよいかをわかりやすくしてほしい。特に、男性が育児に参加できるように行政側からも啓発に力を入れてほしいですね。
- (委員 6) : 社会教育という面で、県では、家庭教育の充実の一環で子育てサロンなど様々な事業を実施しています。各課で同じような事業を重複しているような事業もあるので、各課とよく連携していければ、もっとよい事業ができるかと感じました。
- (委員 7) : 男女共同参画の担当をしていますが、来年度由布市でもプランの見直しを行うのですが、特に男性の子育て意識の改革が必要だと感じました。それと男女共同参画に対しても周知することが重要だと認識しています。
- (委員 8) : 学校教育課の職員ということで参加させていただいていましたが、会長が言われていましたが、量の拡充も必要だが、その前に中身の充実が必要だと改めて感じました。
- (委員 9) : 福祉対策の担当をしていますが、障がいに関する事項も計画書に記載させていただいていますので、今後も関係各課とよく協議していきたいと思えます。
- (委員 10) : どんな計画も、市民に伝わらないと意味がないという表記をしている計画書は、そう多くないと思えます。事業が充実している現状等を市民に伝えていけないといけないと感じました。事業の啓発に努めます。情報窓口の一本化についても検討していく必要があるかと思えます。

(委員 1 1) : 子育てについて、色々な関係者の方が考えてくれているんだと感じました。

(委員 1 2) : 児童クラブのほうも年々入会の申し込みが増えてきているので、施設数も今後増やしていく必要があると思います。庄内地域の減少化について非常に気になります。

(委員 1) : この会議でいい勉強をさせてもらいました。市は色々なアンケートをしているが、その結果がどこにどう反映されているのが分からない。アンケートの結果・成果を返す必要があると思います。今年から、入学前の 5 歳児健診が始まるようになってとてもありがたいと思います。多動の子どもたちの対応ができるので良いと思います。インフルエンザの費用を市で補助してほしいと思います。費用が高いので、インフルエンザに感染すると、仕事を休んでしまう。

(事務局) : インフルエンザの予防接種だけではありませんが、平成 2 7 年度の事業から、クーポン券で対応を検討しています。

(委員 1 3) : 民生委員代表です。引き続き地域の子どもたちの見守りを行っていきます。

(委員 1 4) : 子育ての基本は、家庭が一番と思っています。行政ばかりに任せておくのはいけないと思います。男性の育児休暇についてですが、実際に取得しても 1 日とかいうのが現状なので、由布市がモデルになりながら、気軽に育休ができる体制を整えてほしいと思います。事業の体制についても柔軟に受けとめて、対応してほしいと思います。各団体が連携をとりながら見守ることが大切だと思います。

(副会長) : この計画は、ぜひ、実施計画として実施してほしいと思います。また市の 5 歳児健診は非常に良い結果をもたらしてくれていますので、ぜひ継続してほしいです。子育て中のお母さんはすごく悩んでいる人が多いので、特に若い世代のお母さん方の対応について今後もよく協議してほしいと思います。

(会長) : 皆様方から貴重なご意見をいただきました。本当にありがとうございました。事業としては区切りがありますが、子ども・子育てとしては恒久的に続きます。親子のつながり、地域とのつながり、行政と市民のつながりが大切だと思います。

(事務局) : それでは、「(3) 次世代育成支援行動計画の達成状況及び本事業の点検・評価」についてご説明します。

(会長) : 今の説明に関して何のご意見等はございませんか。

(委員 1 0) : 新計画には引き継がれていますか。

(事務局) : はい、継続しています。

(事務局) : 続きまして、「由布市幼児教育振興プログラムの策定」についてご説明します。

(会長) : はい、説明ありがとうございました。何かご意見等はございませんか。

- (委員 1) : 市外から転入して来た人に、転入届に来た時に子育てマップ等の情報を提供してほしい。どこに相談すればよいか分からないという保護者が多いです。
- (事務局) : はい、検討します。
- (委員 4) : 幼稚園の園長は、小学校の校長先生が兼務していますか。
- (事務局) : すべてではありません。
- (委員 4) : 専属の園長がいたほうがいいと感じましたのでそういう質問しました。
- (委員 10) : どこで意見を上げればいいですか。
- (事務局) : 現在、ホームページや市の窓口で意見の受付をしています。
- (委員 6) : 要望ですが、6ページの特別支援教育の充実ですが、幼稚園に通っている子が小学生に上がるときに何も情報がなかったという話がありました。それですごく不安になったという状況がありました。保育園ではサポートがあるので公立幼稚園でもサポートをお願いしたいと思います。
- (事務局) : 今後は相談体制の充実を図っていきたいと思います。
- (会長) : 小学校⇄幼稚園⇄保育園との連携がとても大切になりますね。
- (副会長) : 公立の学校の先生のインフルエンザ予防接種代はどうなっていますか。
- (事務局) : 共済組合の中で一部助成対応しています。
- (副会長) : ぜひ、由布市は全額助成していただくよう、検討していただきたいと思えます。
- (事務局) : その他ですが、今後は3月中に計画書を製本し、会長に同伴していただき、市長へ答申していく予定です。
- (会長) : 皆様、大変ご協力いただきましてありがとうございました。
- (事務局) : 皆様、本当に2年間、ご協力ありがとうございました。